

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

3月15日発行

Vol.299

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。

結 東日本大震災六周年追悼式典

— 今までの感謝とたすけあいながら先へ進む決意 —

目次

●政府インターネットテレビから

- 東日本大震災六周年追悼式
文仁親王殿下のおことば ----- 2

●被災自治体News

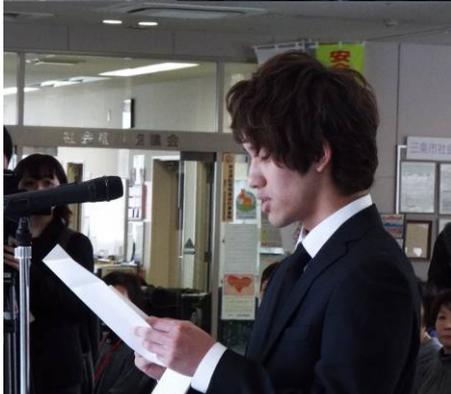
- 南相馬市 ----- 3
- 浪江町 ----- 7
- 双葉町 ----- 10
- 富岡町 ----- 11

●新潟県

- 避難指示区域外から避難している
世帯の住居移転の動向 ----- 12

●交流ルームひばり通信

- 一時帰宅支援バス ----- 13
- 3月食育推進食事会開催 ----- 13
- 東日本大震災六周年追悼式典 -- 14
- 3月・4月の「ひばり」 ----- 20



東日本大震災六周年追悼式（政府主催）

平成29年3月11日（土） 国立劇場（東京都千代田区）



（政府インターネットテレビから）

秋篠宮文仁親王殿下のおことば

6年前の3月11日午後2時46分、私たちが今までに経験をしたことがない巨大な地震とそれに伴う津波が、東北地方太平洋沿岸部を中心とした東日本の広範な地域を襲いました。そして、この地震と津波によって、2万人近い人が命を落とし、また2500名を超える人の行方が、いまだ知られておりません。ここに、本日参集した全ての人々と共に、震災によって亡くなった方々とそのご遺族に対し、深く哀悼の意を表します。

この6年間、被災地においては人々が互いに助け合いながら、数多くの困難を乗り越え、復旧と復興に向けた努力を続けてきました。そして、そのことを支援するため、国内外の人々が、それぞれの立場において様々な形で力を尽くしてきました。

その結果、安全に暮らせる住宅の再建や産業の回復、学校や医療施設の復旧など、いくつもの分野において着実な進展が見られました。

また、原子力発電所の事故によって避難を余儀なくされた地域においても、帰還のできる地域が少しずつではありますが広がってきております。今まで尽力されてきた多くの関係者に対し、心からの感謝と敬意を表するとともに、復興が今後さらに進んでいくことを祈念しております。

しかしその一方では、被災地、また避難先の地で、困難な生活を強いられている人々が、今なお多くいます。特に、避難生活が長期化する中で、年々高齢化していく被災者の健康や、放射線量が高いことによっていまだ帰還の見通しが立っていない地域の人々の気持ちを思うと、深く心が痛みます。困難な状況にある人々誰もが、取り残されることなく平穏な暮らしを取り戻すことができる日が来ることは、私たち皆の願いです。

東日本大震災という未曾有の災害のもとで、私たちは日頃からの防災教育と防災訓練、そして過去の災害の記憶と記録の継承がいかに大切であるかを学びました。この教訓を決して忘れることなく、私たち一人ひとりが防災の意識を高めるとともに、そのことを次の世代に引き継ぎ、災害の危険から多くの人々が守られることを強く希望いたします。

様々な難しい課題を抱えつつも、復興に向けてたゆみなく歩みを進めている人々に思いを寄せつつ、一日も早く安寧な日々が戻ることを心から願い、御霊への追悼の言葉といたします。



南相馬市からのお知らせ

南相馬市民の避難状況 ※南相馬市外に避難している人数

【都道府県別】

平成29年3月9日現在

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
福島県	3,491	群馬県	110	兵庫県	18	広島県	5	宮崎県	1
宮城県	1,297	北海道	52	愛知県	17	大分県	5	和歌山県	-
茨城県	466	長野県	50	京都府	16	佐賀県	3	鳥取県	-
東京都	463	山梨県	48	福井県	12	富山県	2	徳島県	-
新潟県	455	秋田県	42	沖縄県	12	三重県	2	高知県	-
山形県	437	岩手県	36	滋賀県	9	山口県	2	熊本県	-
埼玉県	415	静岡県	32	岐阜県	8	香川県	2	鹿児島県	-
栃木県	316	石川県	28	岡山県	8	愛媛県	2	海外	10
千葉県	268	大阪府	23	長崎県	8	奈良県	1	合計	8,458
神奈川県	262	青森県	18	福岡県	6	島根県	1		(3/2 8,493)

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	886	本宮市	31	大玉村	9	磐梯町	4	合計	3,491
相馬市	818	喜多方市	28	田村市	8	泉崎村	4		
いわき市	525	会津坂下町	22	南会津町	7	楡葉町	3		
郡山市	421	鏡石町	15	金山町	7	天栄村	2		
会津若松市	159	桑折町	14	棚倉町	7	鮫川村	2		
新地町	149	猪苗代町	14	会津美里町	6	浅川町	2		
二本松市	82	西郷村	14	矢吹町	6	小野町	2		
須賀川市	76	川俣町	13	古殿町	5	国見町	1		
伊達市	70	西会津町	11	北塩原村	5	矢祭町	1		
白河市	47	三春町	10	広野町	4	塙町	1		

平成23年3月11日現在の人口 71,561人

市内居住者	自宅居住	35,098人
	市内の知人宅や借上げ住宅等	3,075人
	市内の仮設住宅	1,908人
	市内転居	6,899人
計		46,980人
市外避難者	市外の知人宅や借上げ住宅等	8,458人
	(うち福島県外)	(4,967人)
	計	8,458人
その他	死亡(震災以外の死亡含む)	5,407人
	転出	10,706人
	所在不明	10人
	計	16,123人

	平成23年 3月11日現在の 人口	平成29年 3月9日現在の 居住者数
小高区	12,842人	1,248人
鹿島区	11,603人	12,113人
原町区	47,116人	43,258人
計	71,561人	56,619人

(他市町村からの避難者 2,772人)

※平成23年3月11日以降の転入者および他市町村からの避難者を含むため、避難の状況の市内居住者数と合計の数が異なります。

平成28年度第2回個人積算線量測定（28年7月～28年9月）結果

3月10日HP更新

- (1) 測定期間 平成28年7月～9月
 (2) 測定者数 5,829人
 (内訳 乳幼児:240人 小学生:381人 中学生:203人 高校生:151人 一般:4,854人)

実施結果

- 測定期間中の個人追加被ばく線量は、平均で0.10ミリシーベルトとこれまで同様、低い結果となりました。
- 3カ月間の積算線量を年間の追加被ばく線量に換算すると、全体の96.7%に当たる5,635人が1ミリシーベルト未満でした。
- 追加被ばく線量と測定者数の推移はグラフのとおり。

今回の評価

南相馬市放射線健康対策委員会を開催し、測定結果を分析・評価した結果、次のとおり評価・助言を得ました。

(評価)

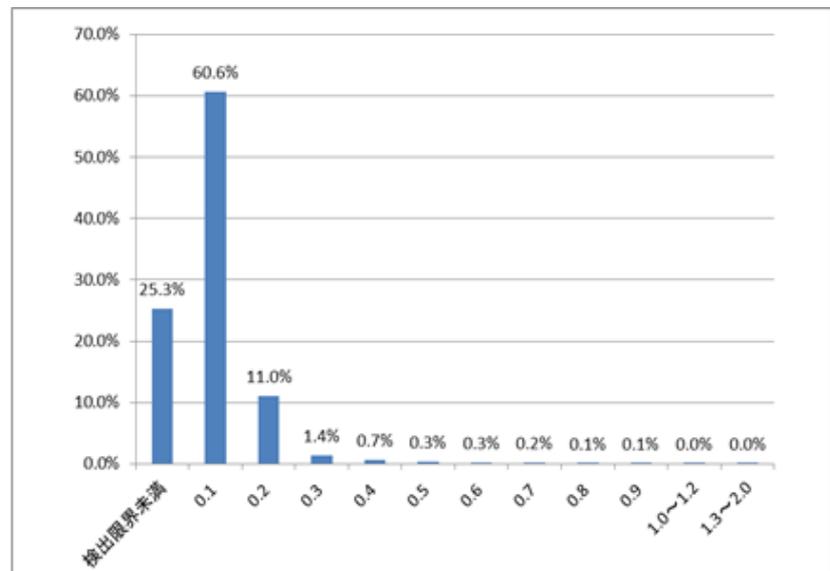
- これまでの科学的知識で判断すると、昨年度の結果同様、全ての被測定者の被ばく線量は、健康影響が心配されるレベルの値ではありませんでした。
- 全体に、被ばく線量は低下していますが、被ばく線量が低い市民も含めて、今しばらくガラスバッジによる線量測定を継続していく必要があります。

(助言)

市民全体の被ばく線量は低い数値で維持されていますが、自分自身の被ばく量を知るためにガラスバッジによる線量測定を継続し、今後も線量の推移を見守る必要があります。

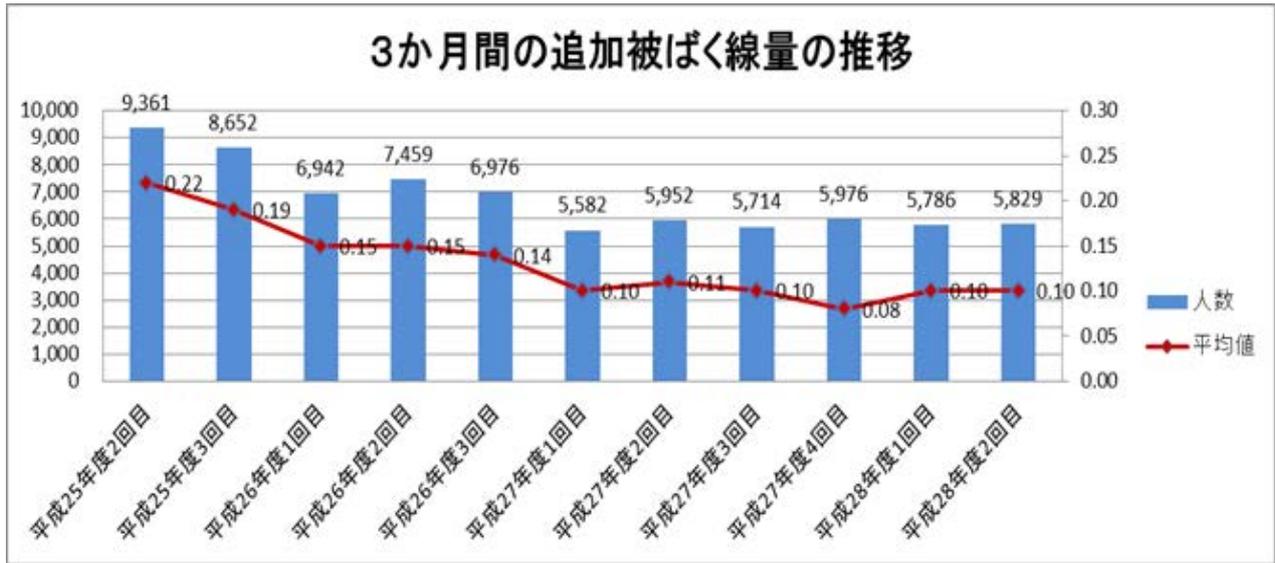
(1) 全体の結果

個人追加被ばく線量 (mSv)	人数(人)	割合
検出限界未満	1,477	25.3%
0.1	3,534	60.6%
0.2	644	11.0%
0.3	80	1.4%
0.4	40	0.7%
0.5	20	0.3%
0.6	15	0.3%
0.7	9	0.2%
0.8	3	0.1%
0.9	4	0.1%
1.0～1.2	2	0.0%
1.3～2.0	1	0.0%
総計	5,829	100.0%



次ページへ続きます

(2) 追加被ばく線量と測定者数の推移



問い合わせ

健康づくり課 放射線健康調査係

TEL 0244-24-5381



みなみそうまチャンネル

南相馬市



電話でのお問合せ

TEL:0244-26-5663

(平日のみ 午前9時～午後5時)

今週の番組 (60分)

※パソコン視聴

1. オープニング&今週の番組 [2分]
2. 復旧・復興にかかる市民説明会 [30分]
3. 平成28年度第2回相馬野馬追保存会総会
平成28年度第2回相馬野馬追執行委員会 [10分]
4. 市役所便り 市民生活部市民課 マイナンバーカードの活用
コンビニエンスストアでの証明書交付サービスのご案内 [7分]
5. 市役所便り 建設部建築住宅課
大木戸住宅団地分譲申込受付のお知らせ [5分]
6. 南相馬見聞録 相馬小高神社 [5分]
7. リクエストアワーのお知らせ [1分]

[午後6時～/午後10時～]特番(1時間)みなみそうま就職ナビ特集

番組内容[3/15～3/22]

今週は、避難指示解除後における復旧・復興事業の取組（国の除染、廃棄物処理）についての「市民説明会」などをお届けします。
また、地域企業の雇用を支援する「みなみそうま就職ナビ」を特別番組として20社を一挙ご紹介します。



平成29年度 個人積算線量測定（ガラスバッジ貸与による）のお知らせ

3月14日HP更新

市では、外部被ばく線量を知りたい方のために、線量測定器（ガラスバッジ）を無料で貸し出しをしています。

まだ一度も測定したことのない方や、線量が気になる方は気軽に申し込みください。

なお、一度申し込むと、自動的に申し込みが更新されますので、以後の申請は不要となります。



外部被ばく線量計（ガラスバッジ）

対象

- 南相馬市に住民登録されている方（震災以降に転出した方も含む）
- 市外から市内に避難されている方
- 市外から市内に通勤、通学している方

実施期間および申込期限

測定期間は3カ月で、年4回実施します。

	実施期間	申込期限
1回目	4月1日～6月30日	申し込みは終了しました
2回目	7月1日～9月30日	5月17日(水)必着
3回目	10月1日～12月31日	8月16日(水)必着
4回目	平成30年1月1日～3月31日	11月15日(水)必着

※ 日程は多少前後する場合があります。

測定方法

正しく測定するためには、

- (1) 受け取った日から継続して身に着けるか、常に自分の身近なところに置いてください。
- (2) 測定終了後、速やかに測定業者に送付してください。

費用

無料

※ ガラスバッジは貸し出し測定するものです。紛失した場合は実費相当額3,780円を負担していただくことになりますので、紛失しないようご注意ください。

申し込み方法

- 測定を希望する方は、記入例を参考に、申込書・同意書に記入の上、申し込みください。申込書・同意書は、健康づくり課放射線健康調査係（市役所東庁舎1階）、原町および鹿島保健センター窓口、各生涯学習センター、または市ホームページからダウンロードしてください。
- 健康づくり課放射線健康調査係、原町保健センター、鹿島保健センターに直接お持ちいただくか郵送、FAXで申し込みください。

問い合わせ

健康づくり課 放射線健康調査係

TEL 0244-24-5381



浪江町からのお知らせ

避難指示区域の解除について

3月10日HP更新

3月10日(金)、国の原子力災害対策本部において、「浪江町に設定されている居住制限区域および避難指示解除準備区域については、平成29年3月31日午前0時をもって、解除すること」が決定されました。

問い合わせ

復興推進課 復興企画係

TEL 0243-62-4731

浪江町HP「つながろう なみえ」から

東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます

3月11日(土)、浪江町に昨年完成した地域スポーツセンター・サブアリーナにて、浪江町東日本大震災追悼式と慰霊祭が行われました。

浪江町内の犠牲者は184人（うち行方不明者31人、町外の方2人含む）、震災関連死は400人（1月末現在）を数えています。

浪江町の一部は今月末に避難指示が解除されます。一部解除はスタートラインに過ぎず、復興の道のりは平坦でも容易でもありません。

しかし、「すべての浪江町民の皆さまと、震災直後から私たちを支援してくださった皆さまと力を合わせ、くらしの再生とふるさとの再生という復興理念を実現し、次世代に引き継ぐことをご霊前にお誓い申し上げます」（町長式辞から）



桑折町災害公営住宅入居者の公募について

3月13日HP更新

桑折町では、下記のとおり、災害公営住宅入居者の募集を行います。

募集住宅

桑折町災害公営住宅(木造2階建て 3LDK) 1戸 ※ペット可(室内でのみ、2匹まで可)



最寄交通機関	JR 東北本線桑折駅、 福島交通桑折道下バス停
通学区	醸芳中学校、醸芳小学校、 醸芳幼稚園、醸芳保育所
周辺医療機関	公立藤田総合病院等
駐車場	各戸2台駐車可能 (使用料無料)



募集期限

3月24日(金) 必着

入居資格

- (1) 平成23年3月11日時点で浪江町民であること
- (2) 避難指示区域の外に居住可能な住居(自己所有の住宅等)を有していないこと
- (3) 地方税の滞納がないこと
- (4) 入居申込者または同居者が暴力団でないこと

入居時期

5月予定

使用料の目安

次の範囲内で、収入の額から算出した額による。

7,800円～67,500円

【問い合わせ・申込先】

桑折町役場 分庁舎1階 まちづくり推進課

TEL 024-582-2124 (午前8時30分～午後5時 ※土・日、祝日を除く。)

浪江町議会議員一般選挙のお知らせ

3月8日HP更新

4月30日の任期満了に伴い、浪江町議会議員一般選挙が行われます。

- 告示日 4月13日
- 投票日 4月23日
- 定数 16人

この選挙は、私たちの意見や要望の声を町政に反映させるための代表者を選ぶ大切な選挙です。

自分の意志と主張で、私たちの代表に最もふさわしい方を選びましょう。

投票できる方

次の要件に当てはまり、浪江町の選挙人名簿に登録されている方です。

- 日本国民である方
- 満18歳以上の方(平成11年4月24日までに生まれた方)
- 平成29年1月12日までに浪江町に転入届を提出し、引き続き浪江町の住民基本台帳に登録されている方

※ 投票する前に浪江町から転出された方は、投票できません。

選挙のお知らせの配布

選挙のお知らせは、3月31日ごろまでに届くように発送する予定です。選挙のお知らせが届かない場合は、選挙管理委員会までお問い合わせください。

選挙公報の配布

選挙公報は、4月20日ごろまでに届くように発送する予定です。選挙公報が届かない場合は、選挙管理委員会までお問い合わせください。

問い合わせ

総務部 行政係(選挙管理委員会)

TEL 0243-62-0128

三条市での不在者投票については、後日お知らせします。



双葉町からのお知らせ

双葉町HP「町長の活動状況」から

双葉地方町村会がJR水戸支社に要望活動

2月27日

双葉地方町村会がJR東日本水戸支社に対し、双葉地方の復興創生に向けJR常磐線の早期全線復旧について要望活動を行いました。

また、双葉町の要望としてJR常磐線が双葉駅に停車し、駅を利用する人々によって町ににぎわいが生まれるよう平成31年度末の運転再開、JR双葉駅の供用再開に向けての特段の配慮をお願いしました。



行政区長会を開催

2月17日

いわき事務所で行政区長会を開催しました。

石田翼区長会長のあいさつの後、復興推進課から双葉町復興まちづくり計画(第二次)の概要について、秘書広報課から平成28年度町政懇談会の概要と新しいタブレット端末の配付について、また、総務課から教育委員会事務局の移転について、それぞれ説明がありました。

また、各行政区長の皆さんから貴重なご意見をいただきました。



参議院環境委員会が双葉町内を視察

2月16日

東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質による環境汚染への取り組み状況の実情を調査することを目的として、参議院環境委員会の森まさこ委員長ほか11人の委員の皆さんが、いわき市および双葉郡の町村長との懇談や双葉・大熊町内の中間貯蔵建設予定地などの視察を行いました。

伊澤町長は現地を案内し、中間貯蔵施設への輸送ルートの整備や減容化施設、用地の取得、除染の早期着手について要望しました。





富岡町からのお知らせ

避難指示区域の解除について

3月13日HP更新

東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴い、当町において設定された居住制限区域および避難指示解除準備区域については、3月10日(金)に開催された国の原子力災害対策本部会議で避難指示区域を解除することが決定されました。

これを受けて、平成29年4月1日午前0時をもって帰還困難区域を除く避難指示区域が解除されますのでお知らせします。

問い合わせ

富岡町役場

0120-33-6466

町・県・国が確認書に署名 政府の復興責任を確認

3月9日HP更新

3月6日(月)、町と国、県は、避難指示解除後も国が復興に責任を持って取り組む確認書を取り交わしました。

確認書には「国は避難指示解除後も、政府一丸となって町民の不安に真摯(しんし)に向き合い、中長期にわたって町の復興・再生に責任を持って取り組む」、「避難指示解除後の取り組みを確認するため、国、県、町は協議の場を設け、進行管理と検証をし、復興に向けた取り組みに反映させる」の2項目を盛り込んでいます。

確認書の署名式は、3月6日に業務の一部を再開した町役場本庁舎で行い、高木陽介原子力災害現地対策本部長(経済産業副大臣)、鈴木正晃副知事、宮本皓一町長、塚野芳美町議会議長が出席しました。

高木本部長は、「避難指示の解除後も引き続き、町、町議会、県をはじめとする関係者と一致協力し、富岡町の復興に全力で取り組むことを約束する。」と述べました。

宮本町長は「帰還困難区域を有する当町は復興途上であり、復興、再生はこれからがスタートである。国、県には町の復興、再生の取り組みの強化と継続を願う。」と要望。

鈴木副知事は「町民が安心して暮らせる環境を整えていくことが最も重要で、県もインフラ復旧整備に今後も取り組む。」と町への協力を約束しました。



問い合わせ

富岡町役場

0120-33-6466

避難指示区域外から避難している世帯の 応急仮設住宅提供終了後の住居移転の動向

3月8日

平成29年3月末をもって応急仮設住宅の提供が終了する世帯に対し、新潟県は、福島県と連携し、電話や個別訪問などにより、本年4月以降の両県の支援策を説明するとともに、円滑な住居移転のための支援を行ってきましたが、その動向について3月6日までに回答を得て、次のとおりとりまとめました。

今後も円滑な移転に向けて、引き続き支援を行ってまいります。

- 1 応急仮設住宅入居457世帯(平成29年1月末時点)のうち93.2%に当たる426世帯が移転先を決定済と回答。
- 2 移転先希望の内訳は、福島県へ帰還が60世帯13.1%、引き続き県内に避難を継続する世帯では、自己契約に切り替えて継続入居が265世帯58.0%、他の民間賃貸住宅へ転居が71世帯15.5%、公営住宅へ転居が26世帯5.7%、住宅取得等が26世帯5.7%、他県へ移転が9世帯2.0%でした。

避難指示区域外から避難している世帯の住居移転の動向

(H29.3.6現在)

応急仮設住宅の種類 移転先の希望	民間賃貸住宅			公営住宅等			合計			
	移転先決定	移転先未定	計	移転先決定	移転先未定	計	移転先決定	移転先未定	計	割合
福島県へ帰還	58	0	58	2	0	2	60	0	60	13.1%
自己契約に切り替えて継続入居	225	12	237	21	7	28	246	19	265	58.0%
他の民間賃貸住宅へ転居	54	4	58	11	2	13	65	6	71	15.5%
公営住宅へ転居	21	0	21	5	0	5	26	0	26	5.7%
住宅取得等	17	6	23	3	0	3	20	6	26	5.7%
他県へ移転	7	0	7	2	0	2	9	0	9	2.0%
計	382	22	404	44	9	53	426	31	457	100.0%
	94.6%	5.4%	100.0%	83.0%	17.0%	100.0%	93.2%	6.8%	100.0%	

(注)世帯数はH29.1.31現在であり、移転先決定世帯には移転済世帯を含む

問い合わせ

震災復興支援課 広域支援対策室

TEL 025-282-1732

一時帰宅支援バスについて (南相馬市)

今年1回目の一時帰宅支援バスの運行が決定しました。

今回(通算9回目)も、新潟県内のボランティア、三条市役所職員、三条市社会福祉協議会職員、ひばりボランティアが同行しての一時帰宅です。

大型バスでの移動になりますので、行き帰りの車内はゆったりできると思います。また、多少の荷物の持ち帰りも可能です(要相談)。

ボランティアをお願いして、家の片付けなどをお考えの方は、ひばりでボランティア依頼のお手伝いをいたしますので、参加申し込みの際にお申し出ください。

日 時 **6月10日** **土** 詳しい日程は後日お知らせします。

集合場所 三条市総合福祉センター

※浪江町・双葉町・富岡町などへも一時帰宅支援を行います。お問い合わせください。

申込締切 3月24日(金) 正午
交流ルーム「ひばり」 TEL 0256-33-8650

3月食育推進食事会開催!!

三条市食生活改善推進委員協議会のご厚意により、3月の食事会を開催します。

今回も、下田地区の渡邊様から頂戴したお米を使わせていただきます。

作り方をお聞きしながら調理も体験し、食後の片付けも一緒に行いたいと思います。

バランスの良い食材を使ったメニューにご期待ください。

と き **3月22日** **水** 正午から

ところ 三条市総合福祉センター 3階 調理室
交流ルーム「ひばり」集合後、移動します。

参加費 300円(当日徴収)

申込締切 3月20日(祝・月) 正午
交流ルーム「ひばり」 TEL 0256-33-8650



1月食事会のメニューです

結 東日本大震災六周年追悼式典

— 今までの感謝とたすけあいながら先へ進む決意 —



はやし ゆう
避難者代表・林 雄 さん 追悼のことば

東日本大震災から、六年という時間が過ぎようとしています。

ここ三条市に避難してきて、たくさんの人達と出会い、様々な経験をさせて頂きました。

このような事があったのも三条市の方々が温かく迎え入れてくださったからだと思います。

そして、毎日充実した日々を送れるのも、ご理解とご支援があつてこそだと思います。

心から感謝しています。
ありがとうございます。

いま私は、大工技術の向上と国家資格を取得するため専門学校に通っています。

そこで学んだ技術と知識を生かし、震災にも耐える家を造り、多くの人々の役にたてたいと思います。

そして、昨年無事に成人を迎え、この二十日に行われる三条市の成人式に参加します。そこで、中学や高校の同級生に久しぶりに会えるのでとても楽しみです。

この様な感謝の気持ちを持たたのも、友人と出会えたのも、あの震災があつたからだと思います。この経験を今後大切にしていこうと思います。

これから先も何が起こるか誰にもわかりません。同じような事が起きるかもしれません。

その時は、また家族一丸となって助けあつていけば怖いものなど無いと思つています。

これからは、少しずつ三条市の方々に恩返しが出来よう頑張りたいと思います。

誠にありがとうございます。
これからも、よろしくお願い致します。

平成二十九年三月十一日

避難者代表 林 雄

結 東日本大震災六周年追悼式典

— 今までの感謝とたすけあいながら先へ進む決意 —



三条市 國定勇人市長 追悼のことば

本日ここに、東日本大震災六周年追悼式典が執り行われるに当たり、謹んで追悼の言葉を捧げます。

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災から六年が経ちました。この震災で失われた多くの尊い命に対し、改めて心から哀悼の意を表しますとともに、現在もお避難を余儀なくされている方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

被災地では一歩ずつではありますが復旧・復興が進み、昨年七月には、南相馬市において山間部の一部を除き避難指示区域が解除されるなど、避難されている方々の帰郷に向けた動きも進んでおり、一周年追悼式典の際に二百七十二名いらっしゃった市内避難者の方々は、この三月で百八名になりました。

これまで、三条市は平成二十五年度より十四回にわたり、避難者の帰郷に向けた一時帰宅の支援と、市社会福祉協議会と連携し、一時帰宅に併せて被災地復興ボランティア派遣を実施して

まいりました。御協力いただいたボランティアの方々のお陰で、参加した避難者の方からは、帰郷に向けた大きな励みになったとお聞きしております。

この間、帰郷し地元での生活をスタートされた方々、そしてこれから三条市で新たな一歩を踏み出されようとする方々、全ての方々が生活再建に対して一定の目的が付くまで、全力で応援してまいることをこの場をお借りして改めてお誓い申し上げます。

結びとなりますが、犠牲となられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、避難されている皆様それぞれへの御希望に応じて、一日も早く生活再建を実現できますよう御祈念申し上げます。追悼の言葉といたします。

平成二十九年三月十一日

三条市長 國定 勇人

結 東日本大震災六周年追悼式典

— 今までの感謝とたすけあいながら先へ進む決意 —



さんじょう∞ふくしま「結」の会代表 佐竹 紀
感謝のことば

一言ご挨拶申し上げます。

本日3月11日で、震災から丸6年を迎えました。

ご承知の通り、平成23年3月11日、マグニチュード9.0 震度6弱という、かつて経験したことのない大地震が発生しました。

間もなく津波が陸地を襲い、多くの方々が犠牲となりました。

そして翌日12日、東京電力福島第一原発が爆発事故を起こし、20キロ圏内に避難指示が出されました。我々の避難生活は、そこから始まりました。

着の身着のまま三条市に避難して来た日が昨日のことのようですが、避難直後に、三条市からランドセルと学用品を準備していただいて入学した小学一年生が、この春には中学生になります。このことを思いますと、まさに感無量であります。

その時々、三条市はじめ数多くの方々から物心両面のご支援をいただいて参りました。

一時は、三条市にお世話になった人数は800名を超えておりましたが、現在は48世帯108名の避難者がお世話になり続けております。

避難者受入れの当初から「三条市は最後の一人まで支援します」という基本姿勢を変えることなく、今なお我々のために、きめ細やかな施策が行われております。

次ページへ続きます

ほんの一例ですが…

毎週発行され自宅まで配布して頂いている避難者応援情報紙「浜通り×さんじょうライフ」は、今週号が298号で、間もなく300号にもなろうとしています。

また、年2回を定例として、大型バスでボランティアさんが同行し、荒れた自宅とその周辺の清掃・整理をしてくださる「一時帰宅」も、8回実施されました。次年度の9回目の打ち合わせも、すでに行われたところです。

この二つの例は、他に類を見ない施策として、福島県はもとより、全国に知られているところです。

昨年7月、20キロ圏内の南相馬市小高区の避難指示が解除されました。今月末には浪江町が解除されます。

福島県、とくに第一原発に近い“浜通り”から避難している我々にとって、6年という長い年月の中で、荒れに荒れ、汚れに汚れた自宅とその周辺を目の当たりにするにつけ、素直に「解除」を喜べないのが本音です。

しかし、「避難指示解除」という現実を受けて、避難元の状況如何に関わらず、避難者一人一人、また各家族の責任において、自らが選ぶ方向に向かって、その道を進まなければなりません。

これからは、まさに“正念場”と考えております。

そして、福島第一原発の事故は、「6年前に発生した」という過去の話ではありません。今なお、続いております。

しかも、我々被災者も、第一原発も、一層深刻な状況になっております。

この現状をご推察いただければ、大変ありがたいと思っております。

“原発事故さえなかったら”と考えるのは、私だけでしょうか。

ここにあらためて、長きにわたる御支援に深く感謝致します。

また、今後ともよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

さんじょう∞ふくしま「結」の会代表 佐竹 紀

結 東日本大震災六周年追悼式典

— 今までの感謝とたすけあいながら先へ進む決意 —

【黙とう】

3月11日(土)午後2時45分から、総合福祉センター1階ロビーで、東日本大震災六周年追悼式典が行われ、避難者や三条市民の皆さんが参列しました。



【追悼のことば】



避難者代表
林 雄 さん
はやし ゆう

三条市
國定勇人市長

【献花】



次ページへ続きます 

■第二部 交流事業

【感謝のことば】

さんじょう∞ふくしま「結」の会
代表 佐竹 紀



【追悼演奏】 三條太鼓三小相承会



今年も、心にしみる、力強くすばらしい演奏を
ありがとうございました。

今回、追悼式典に参加いただいた皆さんには、三角だるまと缶バッジをお贈りしました。



3月・4月の『ひばり』

日	月	火	水	木	金	土
★版画教室 第2・4水曜日午前10時～正午 ★茶話会&簡単な手芸教室 第1・3・5水曜日午前10時～午後2時 気軽に参加ください。				3月16日	17日	18日
				ひばり休み 浜通り配布		
19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
ひばり休み	春分の日 食事会 申込締切	ひばり休み	版画教室 食事会	ひばり休み 浜通り配布	一時帰宅 申込締切	
26日	27日	28日	29日	30日	31日	4月1日
		ひばり休み	茶話会	ひばり休み 浜通り配布		

問い合わせ

交流ルーム ひばり(総合福祉センター内)

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[開館時間] 午前9時30分～午後3時

被災自治体 問い合わせ先一覧

市町村名	電話番号	以下の町は役場機能が移転しています。
南相馬市	0244-24-5232	浪江町:平石高田第二工業団地内 (二本松市北トロミ573番地)
浪江町	0243-62-0123	
双葉町	0246-84-5200	双葉町:双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町2-19-4)
富岡町	0120-33-6466	富岡町:富岡町役場本庁舎で業務一部再開
いわき市	0246-25-0500	
郡山市	024-924-2491	

三条市に避難している 世帯数と人数(2017.3.15現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	27	61
原町区	5	8
南相馬市 計	32	69
浪江町	7	17
双葉町	3	6
富岡町	1	1
いわき市	1	5
郡山市	4	10
合計	48	108

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511